(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11)特許出顧公表番号 特表2003-503101 (P2003-503101A)

(43)公表日 平成15年1月28日(2003.1.28)

(51) Int.CL1		識別記号	FI		f-72-}*(参考)
A61F	2/06		A61F	2/06	4C060
A61B	17/00	320	A61B 1	17/00 3 2 0	4C097
A61M	29/02		A61M 2	29/02	4C167

審查請求 未請求 予備審查請求 有 (全 18 頁)

特爾2001-505828(P2001-505828)	l
平成12年6月28日(2000.6.28)	
平成13年12月17日(2001.12.17)	
PCT/SE00/01369	
WO01/000111	
平成13年1月4日(2001.1.4)	ŀ
9902455-6	
平成11年6月29日(1999, 6.29)	l
スウェーデン (SE)	
	平成12年6月28日(2000.6.28) 平成13年12月17日(2001.12.17) PCT/SE00/01369 WO01/000111 平成13年1月4日(2001.1.4) 9902455-6 平成11年6月28日(1959.6.28)

(74)代理人 弁理士 浅村 鲔 (外3名)

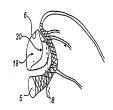
ン 9

最終質に絞く

(54) 【発明の名称】 僧帽弁不全の治療装置と方法・

(57) 【要約】

無償予輸拡張の処理装置は、2つの状態を有する非長体 (8) を含む、第1の状態でおいて神長体(8) は冠状 類(5) に挿入可能で、双状成(5) の形状に違合でき る形状をする。作長体(8) は、双状類(5) 内に配 重された神に、第2の状態へ移行して小さな血率半径と なるととができ、2寸により現状類(5) の曲率半径を よび精解音像(6) の曲率半径、原理系が縮小される。



【特許請求の範囲】

【講求項1】 記状期 (5) に挿入可能な寸法を有するとともに2つの状態を有する伸長体 (8;8';8')を含み、第1の状態において前記伸長体 (8;8';8')は記状剤 (5)の形状に適合できる形状を有し、また前記伸長体 (8;8';8')は前記第1の状態から第2の状態に移行して小さな曲率半径となることができ、もって前記伸長体 (8;8';8')が冠状網 (5)内に配置された時に冠状剤 (5)の曲率半径が縮小し、僧帽弁権 (6)の周囲長が縮小するようになっている僧間奔輪が碾冷療券着。

[請求項2] 前記伸長体(8;8")を大きな曲率半径から小さな曲率半径となるように曲げおよび短縮して第2の状態へ移行させるための手段(9;22;26,27)を更に合む請求項1に記載された僧帽弁輪拡張治療装置。

【請求項3】 短縮によって前記仲長体(8) を曲げおよび短縮する手段を 前記移行手段(9;22;26,27)が含む請求項2に記載された僧帽弁輪拡 張治療装置。

【請求項4】 第2の状態へ移行させる記憶材料を前記伸長体(8;8') が含む請求項1に記載された僧帽弁輪拡張治療装置。

[請求項5] 前記伸長体(8)がステントを含む請求項1または請求項2 に記載された僧標弁権拡張治療装置。

【請求項6】 前記伸長体(8'') が幾つかのステント部分(23~25) を含み、前記曲げ手段(9;22;26,27)が前記ステント部分の開展距離 を短縮させるワイヤー(26,27)を含む請求項2に記載された僧帽弁輪拡張 治療装置。

[爾京項7] 僧相舎の後来状器官(2)の近くで冠状洞(5)内に得長体(8:8';8')を挿入する段階、および冠状洞(5)の曲率を小さくして僧帽弁輪(6)の周囲長を輸かさせるように、冠状洞(5)内に配置された前記伸長体(8;8';8'')を曲げおよび短縮させる段階を含む僧帽弁輪の周囲長縮小方法。

[請求項8] 前記伸長体(8;8")を曲げおよび短縮する前記段階が前 記伸長体の短縮によって行われる請求項7に記載された僧帽弁輪の周囲長縮小方 法。

[請求項9] 記憶材料を前記伸長体(8')に用いて第2の状態に移行させる請求項7または請求項8に記載された僧帽弁輪の周囲長輪小方法。

[請求項10] 前記停長体(8'')が穏つかのステント部分(23~25)で形成され、前記停長体(8'')を曲げるために前記ステント部分(23~25)の関隔距離を短縮させるのにワイヤー(26,27)を用いる請求項?または請求項8に記載された作場弁輪の周囲長縮小方法。

【発明の詳細な説明】

[0001]

本発明は、僧帽弁不全を処置、特に僧帽弁輪の拡張を処置する装置および方法 関するものである。

(4)

[0002]

僧帽弁不全は連血性疾患、僧帽器官の変性疾患、リウマ子熱、心内膜炎、先天性心臓疾患、心臓胸筋疾患(cardionyopathy)のような最つかの原因で生じる。僧帽弁の4つの主な構造要素は輸、2つの兼状器官、素、および乳頭筋である。さまざまな組合せにおいてそれらのいずれか1つまたは全ては損傷したり、不全を生じ得る。輸拡張は、その原因に係わらずに僧帽弁不全の病理の主要因である。さらに、多くの患者は後輪の拡張を主因または唯一の原因とする僧帽弁不全を有する。何故なら、前業状器官の輸は心臓基底の繊維性骨組に固定されているために拡張しないからである。

[0003]

僧帽弁不全の自然経過の研究で、重大な僧欄弁不全を患っている全ての無症候 性患者は通常は5年以内に厳しい廃瘍に進むことを見い出した。現在、その処置 は僧欄弁の交換または修復から成り、そのいずれの方法も心臓を切開しての外科 衛を必要とする。交換は機械弁または生体弁のいずれを使用しても実施できる。

[0004]

器械弁は血栓塞栓症の危険性をもたらし、抗凝固処置を必要としてあらゆる潜 在的な危険を伴うのに対し、生体補続は耐用性が限られるという影響を受ける。 交換による他の危険は、心内膜炎の危険性である。これらの危険性、およびその 他の弁に関連する合併症は、弁を修復することによって著しく減少される。

[0005]

僧相弁の修復は、基本的に正常な前業状器官が存在しているならば、理論的に 可能である。修復の基本的な4つの技術は、輸形成外科リングの使用、疾患のあ る後業状器官の四角形部分の切除、細長い素の短縮、および後業状器官案の前業 状器官への移動を含む。

[0006]

権形成外科リングは、耐用性のある権拡張整復を達成するために必要である。 一般的なリングの全ては左心房の僧閣弁権に隣接した僧帽弁の後業状器官に沿って統合される。デュラン・リングは弁を完全に取り囲むのに対して、他のものは前業状器官に向かって開放されている。このリングは、本来のカーペンティア・リングのように開性が大きくてもよく、また、デュラン・リングまたはコスグローブ・エドワード・リングのように可能性なるも非疑性であってよい。

[0007]

僧帽弁不全の効果的な処置は、現在のところ心筋パイパス、大動脈交差クランプ、および心臓麻痺阻止 (cargdionlegic arrest) の全てを使用して心臓を切開する外科術を必要とする。

[0008]

或る群の患者には、これは特に危険である。老齢の患者、左心室機能の低下した患者、腎臓疾病の患者、大動脈が厳しく石灰化した患者、既に心臓外科術を受けた患者、または他の合身症のある患者は特に、たとえ修復が完全でなくとも、組織を冒すことのない手法が最も好適のようである。現在の趨勢は、心肺パイパスをせずに、組織をさほど冒さない短状動脈が終着に向かっており、同様にPTCAもしばしば付随する僧帽弁不全の修復のために組織をさほど冒さない方法を要求する。

[0009]

それ故に、本発明の第1の目的は、心跡パイパスや胸部および心臓の切開を必要とせずに、信帽弁不全を処置する装置および方法を提供することである。

[0010]

本発明の第2の目的は、組織をさほど冒さない外科術を用いて僧帽弁輪を縮小させることである。

[0011]

前記目的、およびその他の目的は、請求項1で定義される装置、および請求項7で定義される方法によって達成される。

[0012]

本発明によれば、僧帽弁不全の治療装置は、冠状洞内に挿入可能な寸法を有す

るとともに2つの状態を有する伸長体を含み、第1の状態において伸長体は冠状 調の形状に適合できる形状を有し、また伸長体は新記第1の状態から第2の状態 に移行して小さな曲率半径となることができ、これによって伸長体が冠状洞内に 配置された時に冠状洞の曲率半径および僧帽弁輪の周囲長が縮かされる。

[0013]

伸長体を大きな曲率半径から小さな曲率半径となるように曲げおよび短縮して 第2の状態へ移行させるための手段が提供される。

[0014]

この移行手段は、好ましくは非対称の短縮によって伸長体を曲げおよび/また は短縮する手段を含むことができる。

[0015]

さらに、伸長体は、第2の状態へ移行させる記憶材料を含むことができる。 【0016】

好ましい例では、侍長体はステント (stent) を含んで構成される。代替例に おいて、本発明装置は幾つかのステント部分を含み、前記曲げおよび/または短 総手段はステント部分の関照距離を短縮するワイヤーを含むことができる。

[0017]

第2の見逸によれば、僧帽弁輪の円周を絶小する方法は、僧帽弁の後来状器官 の近くで冠状洞に伸長体を挿入する段階、およびその後に冠状洞の曲率を小さく して僧帽弁輪の円周を縮小させるように、冠状洞内に位置された本体を曲げおよ び/または短縮する段階を含む。

[0018]

したがって、本発明は僧帽弁輪に接近した冠状洞の位置を利用する。これは、 現在のカテーテルーガイド技法を使用して恢復を可能にする。

[0019]

 記述器脈は心筋から右心房へ血液を排出する。小さい静脈は心房腔内へ直接に 血液を排出し、より大きい静脈は大動脈と関連して、実質的に備帽弁関口および 輪を取り囲む冠状両内へ延在する。これは、心房隔壁とオイスタヒイ後周との間 の右心房内へ排出するまえに、左心房壁と心室心筋層との間の脂肪層内に位置す。 る後房室系の溝内を延在する。

[0020]

成人では、冠状間の筋直は僧欄弁の後業状器官の内側付着箇所の5~15 mm 以内に近づく。正常体重の成人の解剖において実施した予備測定は、内側付着箇 所で5. 3±0.6 mmの距離、後業状器官の横方向において約10 mmという 同様な結果を示している。冠状洞の円周は、心門で18.3±2.9 mm (5. 8±0.9 mmの後業状器官直径を与える)であり、また後業状器官の横方向に 沿って9.7±0.6 mm (3.1±0.2 mmの直径に等しい)であった。

[0 0 2 1]

本発明は、派付図面を参照した以下の好適例の説明からさらによく理解される であろう。

[0022]

図1は、脂肪組織で満ちた後房室系溝1の心臓部分を通る横断面図である。同 図は、僧閣弁の後業状器官2、および房心筋および室心筋の隣接部分3、4を示 す。冠状間5は、僧帽弁輪6に隣接し、後葉状器官2の付着箇所1の後方に示さ れている。冠状間5は実質的に僧帽弁輪6を取り囲むので、曲がった冠状割5の 曲率半径の総小も僧帽弁輪6の直径および円周の総小をもたちす。

[0023]

図2の装置は、例えばニショナル (Nitional) のような記憶金属、または他の同様な本来形状の記憶を有する材料で形成されて一時的に図2に示された他の形状となるように強制されることのできる、図3に示された仲長体8を合む。この仲長体8は、以下に説明するように互いに取り付けられ、また移動を可能にすることのできる1つ、2つまたはそれ以上の記憶金属製の螺旋またはその他の形状のばね9を含む。仲長体8に沿って幾つかのフック10が平径方向外方へ突出するように取り付けられている。これらのフック10は図2のカバー・シート11で履われている。

[0024]

伸長体8は、図4に示される安定具12によって伸長すなわち延長状態となるように強制される。この安定具12は、2本のアーム13をロッド15の先端1

4に有し、また1つの固定手段16をロッド15の基端に有する。ロッド15の 両端の関係距離は、冠状剤5内に挿入されたときの伸長体8の望ましい長さに一致する。

[0025]

アーム13は図4に示す位置と、図6に示すようなロッド15と整合する位置 との間を自由に移動できる。固定手段16は2つの固定ノブ17を有しており、 これらの固定ノブ17は2つのばねブレード18でロッド15から半径方向外方 へ向けて押圧されている。したがって、伸長体8は安定具12のロッド15上で 押された後、アーム13と固定ノブ17との側で伸長されて、図5に示されるよ うに最終的にその伸長状態にてアーム13と固定ノブ17との側に固定される。

[0026]

ロッド15は先端14と固定手段16との肩で比較的堅いが、冠状洞5の形状 に追従するように曲がることはできる。固定手段16の近くの安定具11の金属 ワイヤーは、静脈の曲がり具合に容易に追従できるようにもっと曲がり易い。

[0027]

前記伸長体8は以下の方法で冠状洞5内に配置される。

[0028]

合成材料製の導入用シート(図示せず)が静脈系へのアクセスを得るために使用できる。静脈系へのアクセスを得たならば、導入用シートを通し、静脈系を経て金属製の長い架内ワイヤー(図示せず)が冠状間5へ進められる。この架内ワイヤーはX線マーカーを備えており、冠状間5内での案内ワイヤーの位置が監視できる。

[0029]

伸展体8は、図5に示されるように安定具12上に固定され、合成材料製の長いカパー・シート11内に導入される。その後、この集合体は導入シートおよび 静脈系を通して冠状期5へ向けて押されて案内ワイヤー上に乗る。備欄弁19が 中央開際20を有して示されている図8に示すように、冠状間5内で伸長体8を 正確に位置決めした後、カパー・シート11は引き戻されて冠状間5内で伸長体 8を露出させる。この操作は、伸展体8上のフック10を冠状間5の壁および心 職に突き立てできるようにする。伸長体8は安定具12上に依然として固定されているので、フック10は冠状祠5の壁と伸長体8を伸長すなわち延長させた状態で係合する。

[0030]

図6に示されるように、ばねブレード18をロッド15へ向けて摂圧することにより伸長体8を固定手段16から解放させるためにカテーテル21が案内ワイヤーおよびロッド15の上を押し進められる。この動きは固定ノブ17並びにアーム13を伸長体8との係合から解放し、伸長体8は図9に示されるように短縮し、また僧帽弁輪6へ向けて曲がる結果としてその後部分を前方(図9に矢印で示すように)へ移動させる。この移動は僧帽弁輪6の円周を絡かさせ、これにより中央関限20を閉じる。

[0031]

図7は、伸要体8の円周部に沿うワイヤー9およびフック10の構造の一部を 示し、これによりフック10の少なくとも幾つかの相互連結部分が元の形状とな るように短縮されたときに、伸長体8は非対称に短縮して曲がりを生じる。

[0032]

図10、図11は伸長体8'の代整例を示しており、これは冠状菌5内に挿入されたときに伸幅弁輪6に最も隣接した冠状河5の壁に保合する開放U形リング形状の中実ワイヤーである。伸長体8'は記憶金属材料で構成され、元の形状に復帰した時には図11に示されるような曲がりを生じる。開放リング8'の元の形状への復帰は、当業者に明らかなような幾つかの方法で開始されることができる。

[0033]

図12および図13に示される第3の実施例の伸長体8"は、3つのステント部分23~25を含み、それらの部分は伸長体8"の一端、その中央、および伸展体8"の他端にそれぞれ位置される。これらのステント部分23~25は位置が固定されるように従来手段によって図示されるように冠状凋5内に位置することができる。それらはワイヤー26,27で連結され、それらのワイヤーは静脈系の外側から操作されて降接するステント部分23,24そして24,25の間系の外側から操作されて降接するステント部分23,24そして24,25の間

限距離が縮小される。さらに詳しくは、それらの距離は非対象的に縮小される、 すなわち、冠状剤5の側で大きく、僧帽弁輪6の後部分に隣接して最も大きく縮 小される。これにより伸長体8"は、図13に示すように曲がり、冠状剤5を僧 帽弁輪6に対して押圧して関際20を閉じる。

[0034]

本発明は、僧帽弁輪の拡張を縮小させるために設計された、冠状測内に配置される装置を提供するものとである。この装置は、後葉状器官の付着箇所から、現在の輸形成外科リングが配置される距離を大きく超えない或る距離に配置され、冠状測はそのような装置を保持するために十分に長い行程に亘る。装置はカテーテル技術または他のいずれかの適当な技術によって位置決めされ、現在の切開外科方法にかわる安全性を与える。装置は冠状測における血栓症を防止するように設計されるか、ヘバリン被覆を施され、したがってアスピリン、チクロペディンまたは抗凝固治療の必要性を減少させる。

[0035]

本発明の精神および範囲から逸脱することなく前記装置および方法の改良が当業者によってなされ得ることを理解すべきである。

【図面の簡単な説明】

図11

心臓の一部の横断面図。

图 2]

本発明装置の第1例の模式図。

[図3]

本発明装置の第1例の模式図。

[图4]

図2、図3に示す装置を冠状洞内に配置する時に使用可能な器具を、図5、図 6と共に示す模式図。

[図5]

図2、図3に示す装置を冠状洞内に配置する時に使用可能な器具を、図4、図6と共に示す模式図。

特表2003-503101

【図6】

図2、図3に示す装置を冠状洞内に配置する時に使用可能な器具を、図4、図 5と共に示す模式図。

【図7】

図2に示す第1例の部分拡大図。

[図8]

図2、図3に示す装置を冠状洞内に配置した状態を図9と共に示す模式図。

【图9】

図2、図3に示す装置を冠状洞内に配置した状態を図8と共に示す模式図。

(図10)

本発明による第2例装置を冠状洞内に配置した状態を図11と共に示す模式図

[図11]

本発明による第2例装置を冠状洞内に配置した状態を図10と共に示す模式図

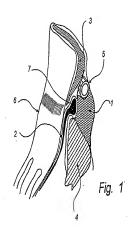
图12]

本発明による第3例装置を冠状洞内に配置した状態を図13と共に示す模式図

[图13]

本発明による第3例装置を冠状洞内に配置した状態を図12と共に示す模式図

图1]



(12)

[図2]

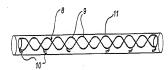
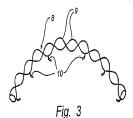


Fig. 2

[図3]



特表2003-503101

[图4]

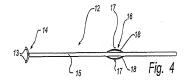


図5]

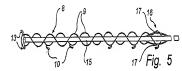


图6]

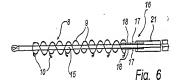


图7]

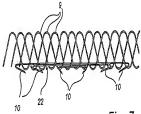
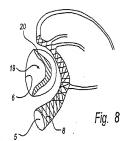


Fig. 7

【図8】



[图9]

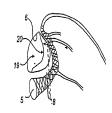


Fig. 9

図10]

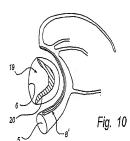
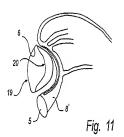


图11]



[図12]

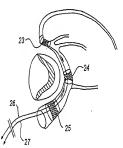


Fig. 12

【図13】



Fig. 13

【国際調査報告】

	1			
	•	nencor	International app	lication No.
	INTERNATIONAL SEARCH	MATURI	PCT/SE 00/0	
. CLASS	IFICATION OF SUBJECT MATTER			
IPC7: A	61F 2/06 Districtional Patent Classification (IPC) or to both safe	ind designates	nd IPC	
B. FIELD	§ SEARCHED			
vinione fo	transmission excelped (characters system followed by	chances than	u)	
IPC7: A	61F		The state of	0.000
	ion searched other than existences documentation to the	enters that your our	STREET ATE LINERAGE	TOE BACK BAKKING
	1,NO classes as above			
Electrosic di	ats base constable during the international search (source	of data bloc and, wh	ALLE DURCHWEDIN' NEELS	Metter sweet)
- 2007	MENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT			
	Charles of decrease, with indication, where app	complete of the sal	nut toward	Relevant to claim No.
Category*				1-10
٨	DE 19605042 A1 (FIGULLA, HANS-RE 15 January 1998 (15.01.96),	abstract + f	igure	1-10
	EP 0727239 A2 (DAIG CORPORATION)	25 August	1006	1-10
٨	(21.08.96), abstract	, at wilding	1330	1
	-			
	US 5163955 A (CHARLES S. LOVE ET	411		1-10
A.	17 Hovesber 1992 (17.11.92),	abstract		
	_			
	}			
	,			
□ s _m	her documents are listed in the communities of Box	r. 🔽 800	patest family erast	1
1	Catalogical Co. Const. Accountages			
,V, quan	of bangery is december who of the ms appey is not comprised and opposed its constructions.	Cate and to the principle	in conflict with the ago or beary underlying the	ernational litting date or priority periori, just cittle in vanderstand in reminin
R de	exemines per kepingen en it, rijet ge prominent mint ene	"X" document of considered p	cal or cased he state	deliced invention central be used to precise an inventive of
gied (nes seich pay time émira en plany dainth er which is la achtein the philicains date of acolor citalen er wher a process of the process of the color citalen er wher	"Y" (context)	hitgory Leinmon ga	dainet investor careet le
"O" Goods	क्षा रहेकांच्यु के का वर्ष क्षेत्रकारण, कर, वर्षकारक वर क्षेत्र	considered to considered to bring obtain	n india in white in the sea or more open an india annual in its	dictated investion execut he g when the discussed in the comments, made constitution he set
P teem	nest published galar to the intermediated filling data lest failer than healty data distinct.	"E" document to	ember of the state paics	(family
Date of t	te actual completion of the international search	Date of making	of the international	search report
ŀ	1000		23-10	2000
2 ta-				
	d mailing address of the ISA/	Authorized office	*	
Name an Sundet		Hélène Erli		

(18)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on satural family mambers

International application No. 08/05/90 PCT/SE 00/01369

15655942 A1 15/01/98 NDE
OA 2153178 Å 15/08/96 BP 072728 Å 21/08/96 JP 0826558 Å 15/10/96 JP 9047513 Å 18/02/97 JP 504755 Å 24/04/95
CA 2153178 A 15/08/96 BP 072728 A 21/08/96 JP 0826550 A 15/10/96 JP 9047513 A 18/02/97 185 5540955 A 24/08/95
JP 8266550 Å 15/10/96 JP 9047513 Å 18/02/97 US 5640955 Å 24/06/97
JP 8266550 A 15/10/96 JP 9047513 A 18/02/97 US 5640955 A 24/06/97
JP 9047513 A 18/02/97 US 5640955 A 24/06/97
LIS 5640955 A 24/06/97
US 5814029 A 29/09/98
US 5868733 A 09/02/99
5163955 A 17/11/92 CA 2101266 A 25/07/92
EP 0569450 A 18/11/93
JP 7504091 T 11/05/95
RO 109501 A 30/03/95
ILS 5326370 A 05/07/94
US 5326371 A 05/07/94
US 5423887 Å 13/06/95
US 5489298 A 66/02/96
IIS 5531784 A 02/07/96
US 5571174 A 05/11/96
US 5584878 A 17/12/96
US 5653749 A 05/08/97
US 5662705 A 02/09/97
US 5755782 A 26/05/98
VO 9212690 A 06/08/92

Form PCT/ISA/210 (patent family annex) (July 1972)

フロントページの続き

EP(AT, BE, CH, CY, (81)指定国 DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, I T, LU, MC, NL, PT, SE), OA(BF, BJ , CF, CG, CI, CM, GA, GN, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AP(GH, GM, K E, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG , ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, BZ, C A, CH, CN, CR, CU, CZ, DE, DK, DM , DZ, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, K E, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS , LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NO, NZ, PL, PT, RO, R U, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM , TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VN, YU, ZA, ZW

Fターム(参考) 4C060 D038 MAQ5

4C097 A415 8801 8809 CC01 CC18 D009 MA04 MA09 4C167 A443 A444 A453 8816 8840 CC19 D010 EE03 GG32 HH30